

週間情報

No. **0840**

発行：全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

両 会 の 動 き

- ◆ 令和8年度全国消防長会財政委員会秋季常任委員会を開催 [全国消防長会財政委員会](#)
- ◆ 第75回全国消防長会危険物委員会を開催 [全国消防長会危険物委員会](#)

消 防 本 部 の 動 き

▽行 事

- ◆ 企業連携機能別分団の運用に関する協定を締結 [郡上市消防本部（岐阜）](#)

▽訓 練

- ◆ 三機関合同訓練を実施 [平戸市消防本部（長崎）](#)
- ◆ 医療救護活動机上訓練を実施 [遠野市消防本部（岩手）](#)
- ◆ 林野火災対応訓練を実施 [甲府地区広域行政事務組合消防本部（山梨）](#)
- ◆ 土砂災害対応訓練を実施 [新潟市消防局（新潟）](#)
- ◆ 栃木県消防防災航空隊と連携した山林火災対応訓練を実施 [足利市消防本部（栃木）](#)

▽研 修

- ◆ 対象別の消火隊研修を実施 [姫路市消防局（兵庫）](#)
- ◆ 「心と体の健康合同研修会」を開催 [赤磐市消防本部（岡山）](#)
- ◆ 「国際消防救助隊員研修（総合訓練）」を実施 [高知市消防局（高知）](#)

▽その他

- ◆ 救急業務功労者表彰を実施 [松戸市消防局（千葉）](#)
- ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈 [西胆振行政事務組合消防本部（北海道）](#)
- ◆ 自衛消防隊員のためのスキルアップ講習会を実施 [東京消防庁（麻布消防署）](#)
- ◆ U35職員限定！「さいたま消防未来共創ビジョン」を開催 [さいたま市消防局（埼玉）](#)

[目次に戻る](#)

◆ 「盛岡消防フェスティバル」を開催

盛岡地区広域消防組合消防本部（岩手）

国 等 の 動 き

▽消防庁通知等

- ◆ 救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部を改正する省令等の公布等について

（消防参第194号、令和8年10月9日）

▽報道発表

- ◆ 救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部を改正する省令（案）等に対する意見公募の結果及び改正省令等の公布

（令和8年10月9日、消防庁）

「公式 X」を開設!!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

[目次に戻る](#)

両会の動き

◆ 令和8年度全国消防長会財政委員会秋季常任委員会を開催

全国消防長会財政委員会

令和8年10月8日（木）、高知県高知市（城西館）において、令和8年度全国消防長会財政委員会秋季常任委員会を開催しました。

会議の議題等は、次のとおりです。

【議題】

- 1 令和9年度消防関係予算の所要額確保に関する要望（案）について
- 2 令和10年度国の予算概算要求に関する要望の方向性について
 - (1) 消防庁舎の長寿命化事業に係る財政措置について
 - (2) 訓練施設の整備に係る財政措置について
 - (3) 消防庁が所管する国庫補助制度について

【情報提供】

- 1 第108回全国消防長会財政委員会以降の経過について
- 2 令和9年度消防庁予算概算要求について
- 3 令和10年度国の予算概算要求に関する要望を見据えた実態調査結果について

【その他】

次期開催地について



【委員会の様子】

◆ 第75回全国消防長会危険物委員会を開催

全国消防長会危険物委員会

令和8年10月15日（木）、秋田県秋田市（ANAクラウンプラザホテル秋田）において、第75回全国消防長会危険物委員会を開催しました。

会議における議案等は、次のとおりです。

【消防庁講話】

危険物行政の最近の動向について

【議案】

- 1 大規模国際・国内イベント等における可搬式の給油設備を用いた船舶等への一時的な「仮取扱い」について
- 2 常置場所において危険物を積載した状態の移動タンク貯蔵所の規制について
- 3 バイオ燃料に係る危険物取扱者（丙種）の取扱範囲について
- 4 次期開催地について

【情報交換】

教育機関における危険物の安全対策について

【情報提供】

- 1 消防庁特殊災害室
「石油コンビナート行政の動き」
- 2 消防庁消防大学校消防研究センター
「消防研究センターの体制と事業概要について」
- 3 東京消防庁
「高層建築物内の非常用発電設備に代表される一般取扱所の避雷設備の施工方法について」
- 4 四日市市消防本部
「予防業務DX推進に関する全国的な知見の共有について」
- 5 危険物保安技術協会
「危険物保安技術協会の情報提供」
- 6 一般財団法人 全国危険物安全協会
「一般財団法人 全国危険物安全協会の情報提供」
- 7 一般財団法人消防試験研究センター
「危険物取扱者試験の現況と受験者増加対策への取り組み」



【委員長挨拶の様子】



【委員会の様子】

消防本部の動き

▽行 事

◆ 企業連携機能別分団の運用に関する協定を締結

郡上市消防本部（岐阜）

郡上市では、郡上市消防本部および郡上市消防団と連携し、令和8年10月5日（月）、明宝特産物加工株式会社と企業連携機能別分団の運用に関する協定を締結しました。

この協定は、消防団員の減少や住民の8割以上が被雇用者であることによる昼間の消防力不足を補うため、企業内に消防分団を設置し活動することで、迅速な災害対応体制を構築することを目的としたものです。

企業内において、市消防団に所属する従業員29人で構成される消防分団を設置し、就業中の時間帯に地域内で発生した火災などの災害対応に当たります。

今回の協定締結は、地域防災力の充実強化に向けた大きな一歩となりました。今後も企業との連携をさらに深めながら、安全・安心な地域づくりに努めてまいります。



【締結式の様子】



【締結式後の記念撮影】

▽訓 練

◆ 三機関合同訓練を実施

平戸市消防本部（長崎）

平戸市消防本部では、令和8年9月24日（水）、千里ヶ浜海水浴場およびその周辺海域において、平戸警察署、平戸海上保安署および田平まちづくり協議会による、三機関合同訓練を実施しました。

この訓練は、海水浴場における水難事故を想定し、関係機関および地域住民との連携強化と、迅速かつ的確な救助活動の向上を目的として実施したものです。

訓練では、「千里ヶ浜付近で釣り客2人が沖合に流された」との想定で、ドローンによる水難者の搜索を実施しました。

発見した水難者に対しては、警察署の警備艇や海上保安署の巡視艇およびゴムボートを活用した救助活動、救急隊による陸上での救命処置を行い、各機関の連携体制を確認しました。



【訓練の様子】

◆ 医療救護活動机上訓練を実施

遠野市消防本部（岩手）

遠野市消防本部では、令和8年9月26日（土）、災害時の医療救護活動机上訓練を実施しました。

この訓練は、災害時に医療救護活動を円滑に行うことを目的として、医師会、市健康福祉部および当消防本部が参加し実施したものです。

訓練では、DMATとして災害活動に従事した岩手県立遠野病院看護師による石川県での活動事例を聴講したほか、遠野市風水害タイムラインを活用し、医療救護班の編成、救護所の設置、医療品の調達および保健師によるトリアージ訓練などを行い、医師会および福祉分野との連携・協力による医療救護活動の流れを確認しました。

今後は、応急処置や搬送に関する機関の参加を拡大するとともに、地震や夜間を想定した訓練を実施し、災害時における確実な医療救護活動体制の強化に努めてまいります。



【保健師によるトリアージ訓練】



【救急指揮所の運営状況】

◆ 林野火災対応訓練を実施

甲府地区広域行政事務組合消防本部（山梨）

甲府地区広域行政事務組合消防本部では、令和8年9月26日（土）、甲府市内の公園において、甲府市消防団と合同で林野火災対応訓練を実施しました。

この訓練は、本年1月に山梨県上野原市および大月市で発生した大規模な林野火災を踏まえ、林野火災発生時において迅速かつ的確に活動することを目的として実施したものです。

訓練では、南消防署職員と山岳地域を抱える甲府市消防団中道上九ブロックの総勢60人が参加し、ホース延長要領や遠距離中継送水訓練などを行いました。

今後も相互に活動内容の共有を図り、連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 土砂災害対応訓練を実施

新潟市消防局（新潟）

新潟市消防局では、令和8年9月30日（水）、新潟県消防学校震災対応訓練施設および土砂災害対応訓練施設において、土砂災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、近年頻発する地震や集中豪雨による土砂災害を踏まえ、土砂災害に対する知識および技術を習得するとともに、緊急消防援助隊出場時に適切に対応することを目的として実施したものです。

訓練では、地震により土砂崩れが発生し、住宅および車両が巻き込まれた想定で、高度救助資機材などを用いた搜索活動や救助用支柱器具による応急対応について再確認しました。

今後も訓練を継続し、災害による被害の軽減に向け、災害対応能力の向上を図ってまいります。



【訓練の様子】

◆ 栃木県消防防災航空隊と連携した山林火災対応訓練を実施

足利市消防本部（栃木）

足利市消防本部では、令和8年10月1日（木）、管内の男浅間神社において、栃木県消防防災航空隊と連携した山林火災対応訓練を実施しました。

この訓練は、山林火災発生時における初動体制の確立および登山者の救出活動を迅速かつ的確に遂行するため、栃木県消防防災航空隊との円滑な連携強化を目的として実施したものです。

訓練では、消防防災航空隊による救出訓練および地上隊による消火訓練を実施し、両隊の連携をより深めることができ、大変有意義なものとなりました。

今後も継続して連携訓練を実施し、災害対応能力のさらなる向上を図るとともに、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【放水訓練の様子】



【救出訓練の様子】

▽研 修

◆ 対象別の消火隊研修を実施

姫路市消防局（兵庫）

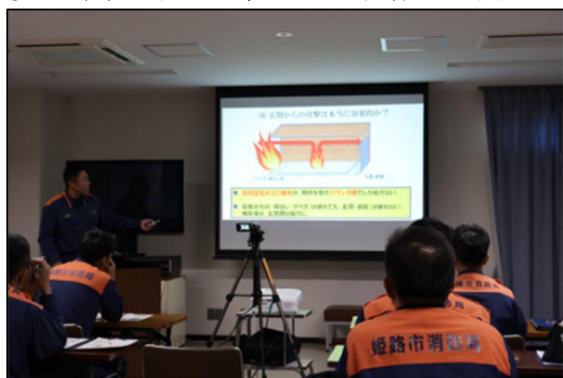
姫路市消防局では、令和8年9月15日（火）および17日（木）、本局が定める消火隊年間計画の一環として、対象別の消火隊研修を実施しました。

この研修は、消火隊を対象に、座学と燃焼実験を通じて区画火災の理解を深め、戦術判断および燃焼状況の評価能力などを向上させることにより、安全で効率的な消火活動につなげることを目的として実施したものです。

当日は、若手職員（主任以下）および管轄中隊長を対象として、若手職員には燃焼状況と戦術の理解、管轄中隊長にはそれに加えて燃焼状況を戦術判断に反映させる内容とし、対面で受講できない職員向けにZOOMを活用したWEB配信も実施しました。

講師は、火災性状に精通し、他都市研修の受講や兵庫県消防学校への複数回の派遣実績を有する当消防局職員が務め、受講者は火災性状・戦術・戦技への理解を深めるとともに、多くの気付きを得る機会となりました。

今後は対象を拡大し、更なる組織力の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「心と体の健康合同研修会」を開催

赤磐市消防本部（岡山）

赤磐市消防本部では、令和8年9月18日（金）、赤磐市を練習拠点とする女子バレーボールチーム「岡山シーガルズ」の選手・スタッフと、県内9消防本部の女性職員が参加する「心と体の健康合同研修会」を開催しました。

この研修会は、それぞれの現場でプロとして働く者同士が交流し、仕事や心身の健康について語り合うとともに、ストレッチやマインドフルネスを通じて、心と体を整えることを目的として実施したものです。

研修会では、スポーツの現場で活躍する岡山シーガルズの選手・スタッフと消防職員が交流を深め、互いの経験や思いを共有しました。

今後も、こうした交流の機会を通じて、女性職員が心身ともに健康で、それぞれの職場でいきいきと活躍できる環境づくりに努めてまいります。



【研修会の様子】



【研修後の記念撮影】

[目次に戻る](#)

◆ 「国際消防救助隊員研修（総合訓練）」を実施

高知市消防局（高知）

高知市消防局では、令和8年9月28日（月）および29日（火）の2日間、高知市南消防署および旧御豊瀬消防分団屯所において、「国際消防救助隊員研修（総合訓練）」を実施しました。

この研修は、国際消防救助隊員として必要な知識、技術を習得するとともに、随時派遣に対応できる体制を整え、国際緊急援助隊の活動に資することを目的として実施したものです。

研修では、海外でマグニチュード7.6の地震が発生し、建物の倒壊や土砂災害により要救助者が取り残されている想定のもと、ショアリング、ブリーチング、ロープレスキューなどを組み合わせた総合訓練を行いました。

また、医療面での助言や言語面でのコミュニケーションにおける連携のため、近森病院の医師や高知市の国際交流員2人も参加し、連携強化を図るとともに、訓練を通じて情報共有や役割確認を行いました。

今後も、派遣要請に備えて訓練を重ね、救助技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【研修後の記念撮影】

▽その他

◆ 救急業務功労者表彰を実施

松戸市消防局（千葉）

松戸市消防局では、令和8年9月9日（水）の「救急の日」およびこれを含む1週間の「救急医療週間」に合わせて、救急業務功労者表彰を実施しました。

この表彰は、市民がAEDを24時間365日いつでも使用できる環境づくりを目的として、AED設置拡充事業に長年協力いただいている事業所に感謝の意を表するため実施したものです。

表彰では、コンビニエンスストアやガソリンスタンドへのAED設置に協力いただいている事業所に対し、事業開始から10年の節目を迎えたことから感謝状を贈呈しました。



【表彰式の様子】



【表彰式後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

西胆振行政事務組合消防本部（北海道）

西胆振行政事務組合消防本部では、令和8年9月15日（火）、洞爺出張所において、消防協力者1人に対して消防長感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和8年8月27日（木）、管内の洞爺湖町で発生した交通事故において、消防協力者が約15メートル下の沢に転落した車両を発見し、沢に下りて傷病者を確認した後、自前のロープを沢沿いに設置して傷病者の腰に巻き付け、上部から引き上げ救出したものです。

また、事故現場が携帯電話の圏外エリアであったため、携帯電話がつながる場所まで移動して119番通報を行うとともに、救急隊を事故現場まで車両で先導しました。

感謝状を受け取った消防協力者の松井友彦さんは「携帯電話圏外でたまたま事故を発見し咄嗟に車に積んでいたロープで救出した!」と話していました。

消防協力者の迅速かつ的確な行動により傷病者の救命に大きく貢献したことに対し、心から敬意と感謝の意を表します。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 自衛消防隊員のためのスキルアップ講習会を実施

東京消防庁（麻布消防署）

東京消防庁麻布消防署では、令和8年9月3日（木）、本所防災館および麻布消防署において、自衛消防隊員のためのスキルアップ講習会を実施しました。

この講習会は、自衛消防隊員のスキルアップを目的として実施したものです。

当日は、31事業所から68人が参加し、本所防災館では、自助共助コースで、地震、煙、応急手当、屋内消火栓設備による放水を体験しました。

当消防署では、消火器のほか、普段は触れる機会の少ない自動火災報知設備の操作や電気火災の実験を行いました。

トラッキング現象による火災の実験では、炎が発生すると参加者から驚きの声上がり、「実際に色々な体験ができて良い勉強になりました」との声が聞かれました。

また、当消防署での講習では、予防技術認定を受けた若手職員も講師として指定し、OJTを実施することで、職員にとっても有意義な講習会となりました。



【講習会の様子】

◆ U35職員限定！「さいたま消防未来共創ビジョン」を開催

さいたま市消防局（埼玉）

さいたま市消防局では、令和8年9月22日（火）、35歳以下の若手職員を対象に「さいたま消防未来共創ビジョン」を開催しました。

この企画は、若手職員が日頃の業務を通じて感じている課題や改善点、今後の消防力整備、業務の効率化、人材育成、働きやすい職場環境づくりなどについて、自由に意見を出し合い、所属や立場の垣根を越えて意見交換を行うものです。

当日は、「他者の意見は否定しない」というルールのもと、個人提案をグループ内で共有し、その提案について課題などを掘り下げ、改善策の検討を行いました。

参加者からは、「モチベーションが上がった！」「同じ思いを持つ職員とつながることができた！」などの意見が寄せられ、次回開催を熱望する声も多く挙がりました。

今後は、次世代を担う若手職員ならではの視点や柔軟な発想を取り入れ、将来を見据えた消防行政の推進などに繋げるため、今回の意見を施策検討や組織運営の参考として活用してまいります。



【個人提案の共有】



【グループ発表】

[目次に戻る](#)

◆ 「盛岡消防フェスティバル」を開催

盛岡地区広域消防組合消防本部（岩手）

盛岡地区広域消防組合消防本部では、令和8年9月26日（土）、消防庁舎を一般公開し、「盛岡消防フェスティバル」を開催しました。

このイベントは、地域住民の防火・防災思想の普及啓発を図ることを目的として開催したものです。

会場には約1,300人が来場し、消防車両や高度救助隊による救助訓練の展示、放水体験、防火衣着装体験、応急手当講習、岩手県防災指導車「防災そばっち号」による地震体験、煙体験、はしご車搭乗体験、119番通報体験などの各種体験イベントのほか、盛岡市消防団による防災スリッパの作成、子どもを対象とした防火紙芝居などを行い、笑顔あふれる大盛況のイベントとなりました。

今後も地域に密着した広報活動を推進してまいります。



【フェスティバルの様子】

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ 救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部を改正する省令等の公布等について

(消防参第194号、令和8年10月9日)

消防庁長官から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部を改正する省令（令和8年総務省令第116号。以下「改正省令」という。）、救助活動に関する基準の一部を改正する件（令和8年消防庁告示第16号。以下「改正告示」という。）及び消防救助操法の基準の一部を改正する件（令和8年消防庁告示第17号。以下「改正操法」という。）が令和8年10月9日に公布されました。

今回の改正は、「令和7年度救助技術の高度化等検討会報告書」を踏まえ、救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令（昭和61年自治省令第22号。以下「省令」という。）、救助活動に関する基準（昭和62年消防庁告示第3号。以下「告示」という。）及び消防救助操法の基準（昭和53年消防庁告示第4号。以下「操法」という。）について、所要の改正を行うものです。

貴職におかれましては、下記事項に留意の上、その運用に十分配慮されるとともに、各都道府県知事におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても、この旨周知されるようお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/261009_sanjikan.pdf）に掲載されています。

(連絡先)

総務省消防庁国民保護・防災部参事官付

担当：大月参事官補佐、田中救助係長

TEL：03—5253—7507（直通）

FAX：03—5253—7576

▽報道発表

◆ 救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部を改正する省令（案）等に対する意見公募の結果及び改正省令等の公布

（令和８年１０月９日、消防庁）

救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部を改正する省令（案）等について、令和８年８月５日（水）から令和８年９月８日（火）までの間、意見を公募したところ、１６件の意見の提出がありました。この結果を踏まえて、本日、「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部を改正する省令」等を公布しましたのでお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/261009_sanjikan_01.pdf）に掲載されています。

（事務連絡先）

消防庁国民保護・防災部 参事官付 大月補佐、田中

TEL 03-5253-7507（直通）

E-mail:fdma.kyuujo_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。

・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 柳田 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間にも共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・トップ・セカンド記事 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・消防ワイド 写真中心の自由投稿 文章:Word100字程度／写真:JPEG1枚

【問合せ】：企画課・吉田 TEL 03-4500-6622

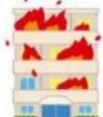
トップ・セカンド記事: kikakeikaku@fcj.jp 消防ワイド: honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



「消防行政相談事例集」を掲載中

- これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムに掲載しています。
- 行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。
- 掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。
- 掲載する事例は、今後、随時追加していきます。



全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設！

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

- 全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設しました。フォローをお願いします。
令和8年度から定期刊行物（会報・ほのお・週間情報 ※週間情報は既に公開中）をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報などを素早くお届けします。
フォロー（アカウント登録）していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。



フォローはこちら



X(旧 Twitter) 登録用二次元コード

